



Smile is the best.



子ども達の
笑顔のために

We want to protect the smile.



〒373-0025 群馬県太田市熊野町 7-15
TEL : 0276-25-3581
FAX : 0276-22-2600
<https://www.sankou-fukushikai.jp>

採用サイトは
こちら! ↓



家族のように、友達のように。 子ども達の笑顔を守り続ける。

0歳児から18歳、そしてその先までその子の人生を見守っていく。

それが私たちの仕事です。

当施設の子供達は、保護者の方で安心して暮らす機会に恵まれなかったため、

きちんとした生活というもの知らないこともあります。

まずは生活とはどういうものなのかを見せていくことから始まります。

もちろん、すぐに信頼関係をつくるのは難しいでしょう。

時には壁にぶつかることもあります。

でもあなたには、サポートしてくれる仲間がいます。

安定した心で根気強く子ども達に接していけば、

やがてお互いがかけがいのない存在となることでしょう。

笑顔はそんな当たり前の日常から生まれます。

あなたの愛情で、子ども達の笑顔が一つでも多く生まれますように。

三晃福祉会の4つの事業

子ども達の
住まい

児童養護施設

様々な事情により、家庭で育てることが困難な児童(おおむね2歳から18歳)をお預かりし、親代わりに養育にあたっています。

・東光虹の家 ・こどもの家童夢

お母さんと
子どもの
生活の場

母子生活支援施設

18歳までの子どもを育てている母子家庭、または母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。

・虹ヶ丘園

赤ちゃんの
おうち

乳児院

0～2歳くらいの子どもの保護者に代わって24時間養育しています。県内唯一、乳児院と児童養護施設を同一法人で運営しています。

・東光乳児院

子育ての
駆け込み寺

児童家庭支援センター

子育ての不安や悩みに対し、相談員や心理士が相談に応じて様々なサービスを提案。解決に向けてのお手伝いをしています。

・こども家庭相談室

三晃福祉会の11の職種

各職種のスタッフが日々連携をとりながら、子ども達の安心で安全な生活を見守っています。

養育担当

児童指導員
保育士
母子支援員
少年指導員
看護師

相談援助担当

家庭支援
専門相談員
里親支援
専門相談員
心理職

その他担当

栄養士
調理員
事務員

児童指導員とは？

児童福祉施設において、そこで生活する18歳までの子ども達のサポートを行う職種のことです。以下の条件を満たす方はどなたでも児童指導員として働けます。

社会福祉学、心理学、教育学、社会学等の学部・学科を卒業(予定)／小学校、中学校、高校のいずれかの教員免許を取得(予定)
社会福祉士または精神保健福祉士の資格を取得(予定)

※児童指導員、保育士の資格を取得していれば、母子支援員、少年指導員として働くことができます。



児童指導員

濱村 大樹
2018年入職

困った時に頼ってもらえるよう、
子どもとの信頼関係を築いていきます。

小学生から高校生までの6人が一緒に生活するユニットで、衣食住の支援と自立した生活を送るための生活指導を行っています。大人がなんでもやってあげるのは簡単ですが、子ども達の自主性を尊重して手を貸しすぎないようにしています。任せられると頑張ろうと思えますし、頼り合うことで信頼関係を築いていけると思うんです。困った時も「あの人に相談しよう」と思ってもらえる職員になれるよう、子どもと一緒に成長していきたいです。



子どもの笑顔を
引き出す取り組み



たくさん褒めること。できたことに目を向け、たくさん褒めるようにしています。

家庭支援専門相談員

川島 塁
2001年入職

子どもと家庭の関係をつなぎ、
ひとりでも多く家庭に帰れるように支援。

様々な事情で当施設で暮らしている子ども達ですが、帰るところは家庭です。児童相談所と連携して家庭と定期的に連絡を取り、子ども達が家庭に帰るための支援をしています。また、自分のルーツを知らない子ども達もいますので、生い立ちの整理を関係機関と協働して行っています。当施設で支援していた子どもが、成人して自分の子どもを連れて施設を訪れてくれた時にはこの仕事を続けていて良かったと実感しました。



子どもの笑顔を引き出す取り組み

子どもより先に元気に挨拶をします。明るい挨拶で子どもの緊張が解け、会話のきっかけになります。

保育士

近藤 小乃美
2019年入職

家庭のような雰囲気で、
職員全員で子どもの成長を支えています。

乳児院では様々な職員が協力して子ども達の生活全てのお世話をしています。まだ喋れない小さな子どもの気持ちを汲み取ることは難しいですが、先輩からその日の様子を教えてもらいながら子どもの気持ちを想像します。シフトを交替する時も「〇〇ちゃん、ずりばいが上手になったね」と声をかけてくれたりして、職員全員で成長を見守っている家庭のような雰囲気があるんです。子ども達が大きくなった時、愛情を受けて育ったと感じてもらえるように一人ひとりとの時間を大切に過ごしていきたいです。



子どもの笑顔を
引き出す取り組み



スキンシップが好きな子が多いので、抱っこをしたり、膝に座ってもらってたくさんお話をしています。

里親支援専門相談員

林 沙耶
2008年入職

里親になる家庭と子どもが
健やかな人生を歩めるようにサポート。

里親と子どものマッチングから委託後までのサポートをします。里親になる方に子どもの様子や好きなものを伝えたり、里親会の会議や行事を案内したりして、安心して子どもを預かっていただけるようなサポートを行っています。里親さんの家で子どもが元気になっている姿を見られると「この里親さんとマッチングできてよかったな」と安心して嬉しくなります。



子どもの笑顔を引き出す取り組み

小さい子ども達にとって遊びは脳の発達に欠かせません。遊びがさらに楽しくなる声かけが心がけています。



丁寧なOJT研修



先輩職員がマンツーマンで3ヶ月間指導するので、安心して仕事を始められます。

基本のキから 教えてもらえます



洗濯物の干し方からタンスに入れやすいようなたたみ方、お米の研ぎ方、食器の洗い方等、基本的なことでも分かりやすく、イチから教えます。

入職3ヶ月間は 先輩と一緒にです



その日の仕事内容に合わせて先輩が付き、あなたと一緒に行動します。一日の最後に振り返りの時間をもち、疑問点等を解消します。

スキル向上のための スーパービジョン



子ども達と信頼関係を築いていくため、接し方や支援計画を経験豊富な先輩から指導してもらえます。支援者としてのスキル向上に役立ちます。



風通しのよい職場



ささいな困りごとでも、気軽に質問や相談ができるオープンな職場です。

施設長にも 気軽に質問！



施設長との個別の面会時間を設けているので、現状を素直に伝える機会があります。また、現場でも、気軽に質問できます。

社会保険労務士にも 相談できる！



定期的に社会保険労務士が来訪。働き方や現場について等、専門的な相談が可能です。また、匿名でメールでの質問にも対応しています。

子育てしやすい 環境



産休・育休取得の他、復帰後の時短勤務制度があります。子どもが病気の時は、休暇や早退が認められているので、子育てしやすい職場です。

イベントも先輩と一緒に
準備するから安心！

“楽しい夏休み旅行”



年間を通して、様々なイベントや行事があります。
コロナ禍でも夏休み旅行は子ども達の大きな楽しみ★ 今回担当するのは、入職3年目の坂本さん。
準備から旅行当日までの奮闘ぶりを追っていきます。

頑張ります！！



坂本 万柚子
2020年入職

大きなイベントは今回が初めて。先輩に聞きながら、企画から外出先の手配、子ども達の引率まですべて担当します。

サポートします！！



木暮 学
2015年入職

今回は坂本さんのアドバイザー役。施設では、ユニットリーダーとして職員をまとめる役割も担っています。

職員ミーティング



旅行先の候補を
みんなで出し合う。

まずは職員だけのミーティング。子ども達の日頃の様子や日常会話から、旅行先の候補を出し合います。動物園、遊園地、テーマパークetc.子ども達の喜ぶ姿を考えるだけでワクワクします。

子ども達にヒアリング



子ども達の希望や
思いを全部聞き出す。

旅行の主役はもちろん子ども達。職員が考えた行き先の候補を伝えながら、子ども達の要望を話してもらいました。職員は日頃から子ども達と接しているの、行きたい場所は予想通り！

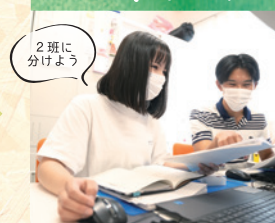
計画書の作成



行きたい場所を踏まえ
旅行の行程を計画。

子ども達の希望を元に職員間で再度ミーティングを行い、行き先を決めます。年齢に合わせて遊園地や動物園等日帰りで行けるように計画書を作成。完成したら先輩に確認してもらいます。

ホテル予約・班分け



外出先を決定し予約。
訪問先への確認を行う。

遊園地等のチケット料金や感染症対策の確認、予約を行います。先輩にアドバイスももらいながら班構成を決定。子ども達一人ひとりの性格や興味を考えながらメンバーを決めていきます。

しおりの作成・行先発表



ワクワクしながら
旅のしおりをつくる。

職員同士で旅行中のスケジュールや役割分担を決めつつ、旅行のしおりを作成。子ども達のやりたいことを詰め込んだので、発表の際はみんな大興奮。旅行前から盛り上がりました。

旅行



全員で参加でき、
夏休みを満喫。

久しぶりの夏旅行。動物園へ行ってきました。アトラクションに乗ったり、動物の餌やりをしたり普段できない体験をいっぱい楽しめました。子ども達の楽しそうな姿を見ると、とても嬉しく感じます。

